SHARP

掃　除　機

形名

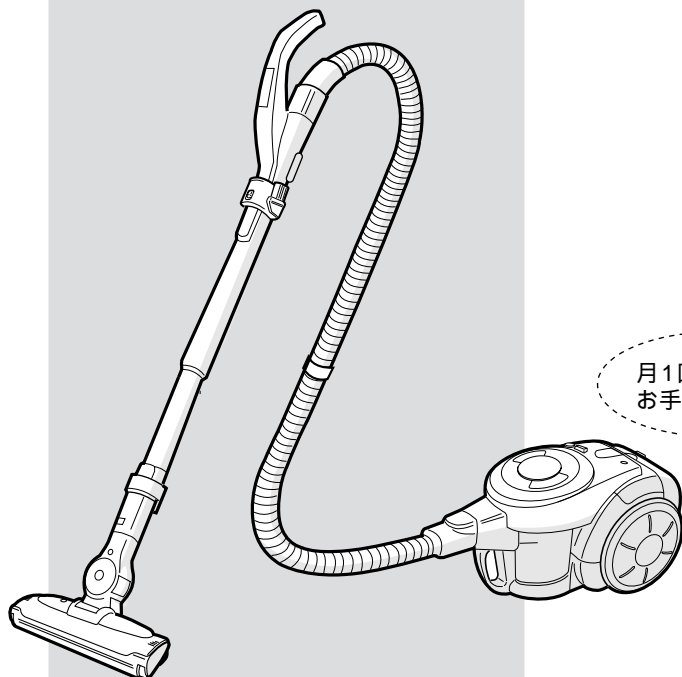
イー　シー　ビー　ピー

EC-BP2

取扱説明書

＊1

プラズマクラスターイオンおよびPlasmaclusterは、シャープ株式会社の商標です。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

＊1　除菌イオンの効果

試験機関	(財)石川県予防医学協会
測定方法	室温25℃・湿度42％・3畳相当の空間で、掃除機の排気口から1m後方、床面から1.1mでの気中浮遊カビ菌数を測定。
除菌方法	除菌イオンを空気中に放出。

もくじ

ページ

安全上のご注意

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくために、いろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 警　告
人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注　意
人がけがをしたり、財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

禁止
してはいけないことを表しています。

分解禁止
分解や修理改造の禁止を表しています。

ぬれ手禁止
ぬれた手で触れてはいけないことを表しています。

水ぬれ禁止
ぬらしてはいけないことを表しています。

接触禁止
触れてはいけないことを表しています。

火気禁止
火気を近付けてはいけないことを表しています。

必ず実施
しなければならないことを表しています。

プラグを抜く
必ず差込プラグをコンセントから抜くことを表しています。

- 「安全上のご注意」は使う前に必ず読み、いつでも見られる所に保存しておいてください。

⚠ 警　告

禁止

灯油・ガソリン・可燃性ガス・タバコの吸殻・線香などを吸わせない。
トナーなども吸わせないでください。火災の原因になります。

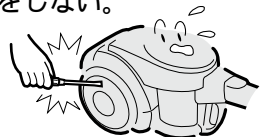
傷んだ電源コードや差込プラグ・ゆるんだコンセントは使用しない。
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

電源コードを傷付けたり、無理に引っ張ったり、曲げたりねじったり、重い物を載せたり、挟み込むなどしない。
電源コードが傷み、火災・感電の原因になります。

電源コードを回転ブラシの回転部分に巻き込ませない。
電源コードの損傷により感電することがあります。

分解禁止

絶対に分解したり修理改造をしない。
火災･感電･けがの原因になります。修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

ぬれ手禁止

濡れた手で差込プラグの抜き差しはしない。
感電やけがのおそれがあります。

水ぬれ禁止

水洗いや、風呂場などの湿気の多い所での使用、水の吸込みは、絶対にしない。
感電やショート・発火の原因になります。
(ダストカップ組品・回転ブラシ・フィルターは、水洗いできます。)

接触禁止

回転ブラシやセーフティストップ機構(ローラースイッチ)には触れない。
手などにけがをすることがあります。とくにお子様にはご注意ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因になります。

必ず実施

差込プラグのほこりなどは定期的にとる。
差込プラグにほこりなどが溜まると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
差込プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

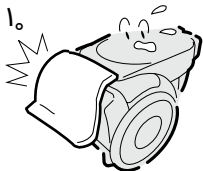
差込プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全ですと、火災･感電の原因になります。

プラグを抜く

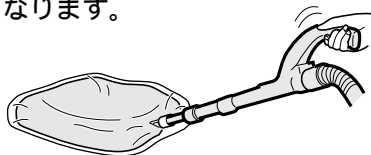
お手入れ・点検の際は、必ず差込プラグを抜く。
感電やけがのおそれがあります。

お 願 い

⚠ 注　意

排気口をふさがない。
火災の原因になります。

引火性のもの(ガソリン・ベンジン・シンナー)の近くで使用しない。
爆発や火災の原因になります。

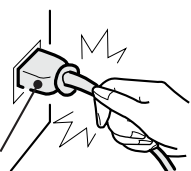
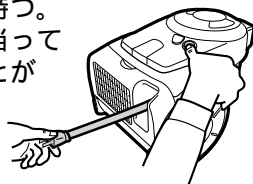
禁止

吸込口をふさいで長時間運転しない。
過熱による本体の変形・発火の原因になります。

ホース差込口・ホース・樹脂製ズームパイプの接点・排気口に、金属類・ピンなどを入れない。
感電や故障の原因になります。

火気禁止

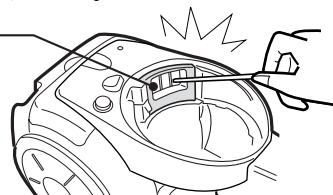
火気に近付けない。
本体の変形によるショート・発火の原因になります。

必ず実施

差込プラグを抜くときは、必ず差込プラグを持って抜く。
差込プラグを持たないと感電やショートし、発火することがあります。

電源コードを巻き取るときは、差込プラグを持つ。
差込プラグが当ってけがをすることがあります。

プラグを抜く

使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

- **水や液体・湿ったごみ・ピン・針・ひも・シンナー・油・ベンジンや殺虫剤などは吸わせない。**
  故障の原因になります。
- **ガラス・カミソリなどの鋭利なものや、大量の砂などは吸わせない。**
  ダストカップや内筒のメッシュに傷が付きます。
- **電源コードを引き出すときは、コード根元の赤マーク以上、無理に引っ張らない。**
  断線の原因になります。
- **石こう・セメント・チョークなどの、非常に細かい粉を吸わせた後は、すぐに内筒をはずして水洗いしてください。**
  内筒のメッシュが目詰まりして、サイクロンの吸じん力が低下します。
- **大きなごみや一度に大量のごみを吸わせない。**
  吸込口・ホース・樹脂製ズームパイプ・ダストカップ組品で、ごみ詰まりの原因になります。
- **取扱いはやさしく。**
  ホースを急激に引っ張ったり、踏んだり、また重い物を乗せないでください。
- **排気口に、指・ヘアピン・つまようじ・コインなどを入れない。**

- **ダストカップをはずした状態で運転しない。また、吸気ダクトに、指・ヘアピン・つまようじ・コインなどを入れない。**

- **クリーニングサイン(ランプ点滅とアラーム音)がお知らせしたら手元スイッチを切り、ダストカップのごみを捨てる。**
  また内筒のメッシュを月2回、ダストカップ上組品のフィルターを、月1回お手入れしてください。
- **ダストカップ・ダストカップ上組品・内筒とクリーニングリング・回転ブラシの水洗い後は、乾いた布で水滴を拭き取る。**
- **ダストカップ上組品のフィルターの水洗い後は、陰干しして、十分に乾燥してから使う。**
- **お掃除以外に使用したり、吸込口を密閉して使用しないでください。**
  故障の原因になります。
- **土間などを掃除しないでください。**
  吸込口が傷付きます。
- **この掃除機は家庭用です。業務用としての使用はできません。**

各部のなまえ

〔　　〕内の数字は主な説明のあるページを示します。

手元スイッチ 〔7~9 ページ〕

手元パイプ

ベンリブラシ 〔8 ページ〕
樹脂製ズームパイプの先にも装着できます。

着脱ボタン 〔6 ページ〕
はずすときは押しながら抜く

付属ホルダー

すき間用ノズルを差し込む。
（はずすときは、付属ホルダーにそって引き抜く。）

すき間用ノズル　**付属ホルダー**

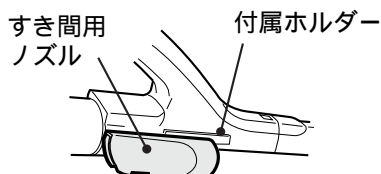
ハンドル

360度回転し、ホースのねじれを防ぎます。

カチッ

フック 〔11 ページ〕

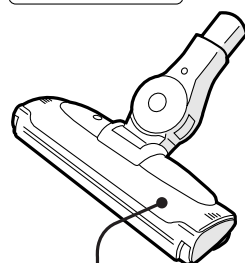
ホース掛け 〔6 ページ〕

カチッ

樹脂製ズームパイプ 〔6 ページ〕

パイプホルダー 〔11 ページ〕

着脱ボタン 〔6 ページ〕
はずすときは押しながら抜く

カチッ

着脱ボタン 〔6 ページ〕
はずすときは押しながら抜く

ホース差込口

100V接続部

伸縮ボタン(裏側) 〔6,11 ページ〕

伸縮ボタンを押しながら、樹脂製ズームパイプの長さを調節する。

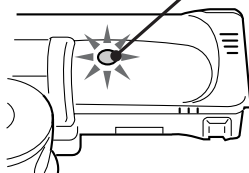
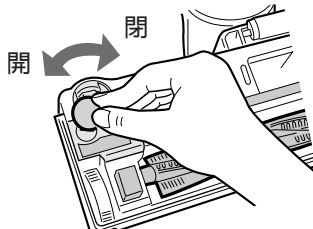
伸縮ボタン

(裏側から見た図)

バイオ除菌加工HEPAフィルター ＊2
お手入れの必要はなく、取りはずしはできません。

＊2 バイオ除菌加工HEPAフィルターの効果

試験機関	(財)日本紡績検査協会
試験方法	統一試験法
除菌方法	酵素をフィルター材に処理

吸込口 (イオンブラシに、Ag+(銀)イオン加工をしています。)

ホース　ホースは軽くしなやかな材料を使用していますので、少し曲がりぐせがつくことがあります。

カップ取出しボタン 12,13 ページ
押すとカップが浮き上がります。
セーフティ機構により、スタンド収納状態では、カップ取出しボタンを押してもダストカップは浮き上がりません。

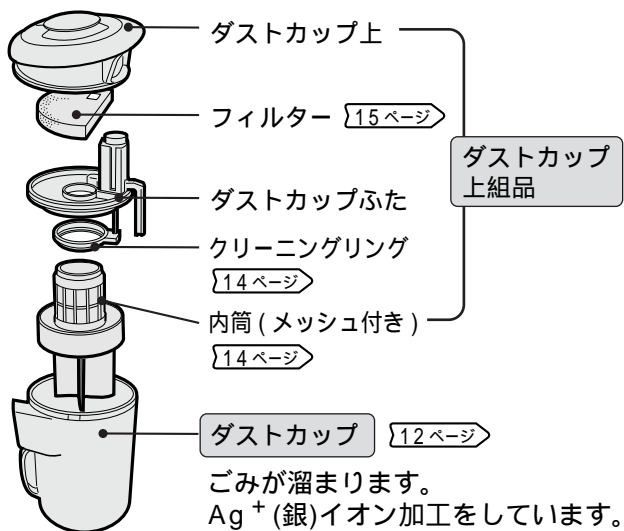
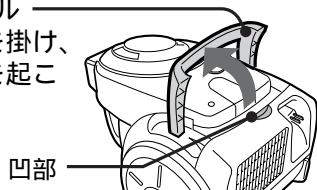
コード巻取りボタン 11 ページ

プラズマクラスターイオンランプ 7 ページ

クリーニングサイン 13 ページ

ダストカップ組品

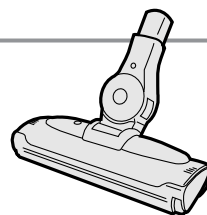
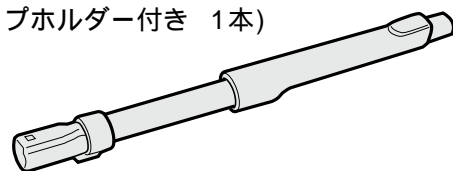
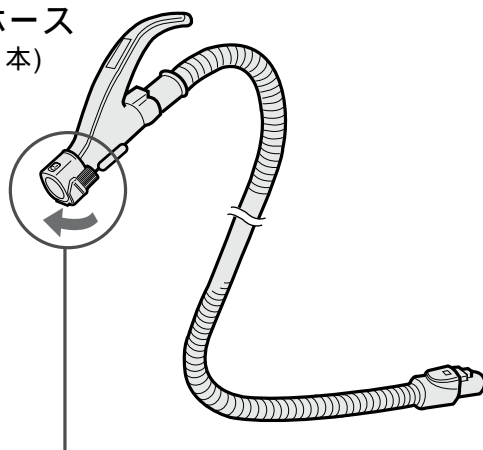
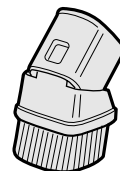
ダストカップ上組品とダストカップに分かれます。

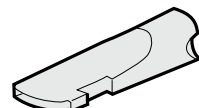
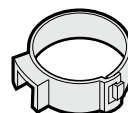
ごみが溜まります。
Ag＋(銀)イオン加工をしています。

本体ハンドル

セーフティストップ機構（ローラースイッチ）
安全のため、吸込口を床面から浮かすと、回転ブラシが自動的に止まります。

- 床面から浮かしたままセーフティストップ機構に手をふれないでください。
回転ブラシが動きだし危険です。

- セーフティストップ機構より、カラカラと音が出ることがありますが、異常ではありません。
- 吸込口をひっくり返して、セーフティストップ機構を押しても、回転ブラシは動作しません。

付属品

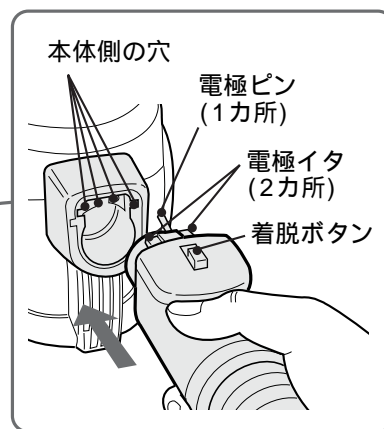
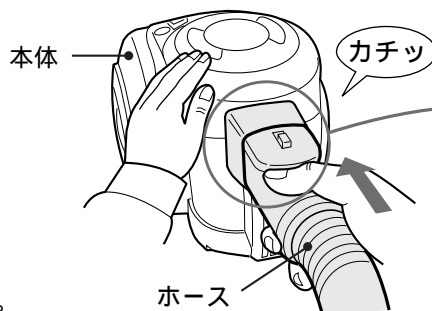
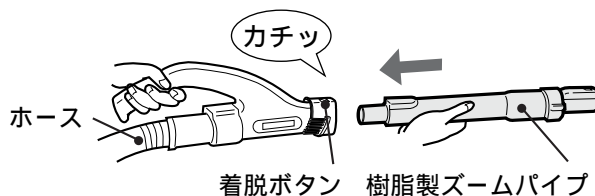
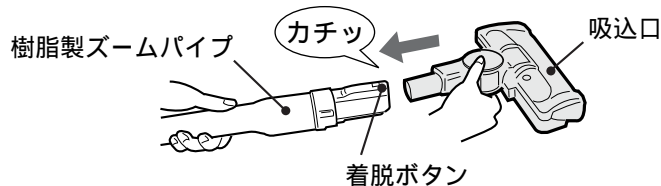
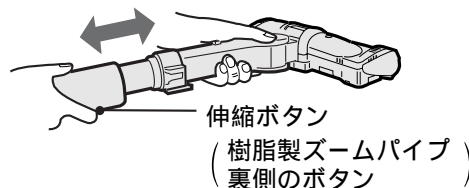
吸込口
(1個)

樹脂製ズームパイプ
(パイプホルダー付き　1本)

ホース
(1本)

ベンリブラシ
(手元パイプ装着　1個)

ダストカップ組品
(本体装着　1個)

すき間用ノズル
(1本)

ホース掛け
(1個)

印刷物付属品 (各1部)
取扱説明書・保証書

ご使用前の準備

ダストカップの取りはずしかたは、12ページ**をご覧ください。**

1 ホースを本体に取り付ける。

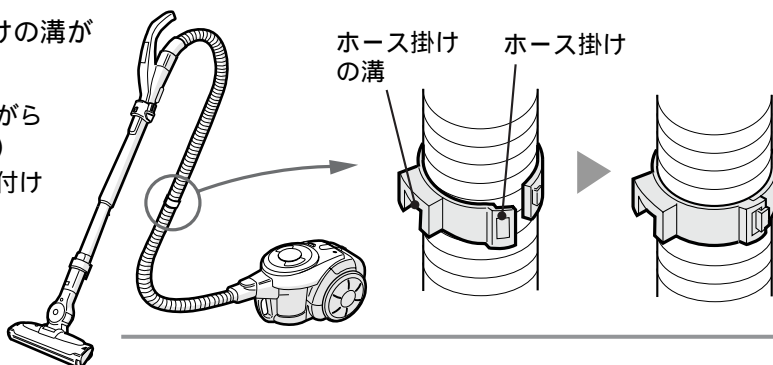
お知らせ
- ホース側の電極ピン・電極イタは、3カ所。本体の穴は4カ所です。

2 樹脂製ズームパイプをホースに取り付ける。

3 吸込口を樹脂製ズームパイプに取り付ける。

4 伸縮ボタン(樹脂製ズームパイプ裏側のボタン)を押しながら、長さを調節する。

5 差込プラグをコンセントに差し込む。

お知らせ
- ホース・樹脂製ズームパイプ・吸込口を取り付けるときは、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。はずすときは、着脱ボタンを押したまま引き抜いてください。

ホース掛けの取り付けかた

図のようにホースの真ん中付近にホース掛けの溝が本体側に向くように取り付けてください。

お願い
- スタンド収納時、位置を調節しながら取り付けてください。(11ページ)
- たたみなどにすれない位置に取り付けてください。

ホース掛けの溝
ホース掛け

基本的な操作のしかた

手元スイッチの使いかた

ふだんのお掃除

1 強/弱 **を押す。**

強弱は、お掃除の場所に合わせて選んでください。（8 ページ）

2 **運転を止めるときは 切 を押す。**

「パワーブラシ」ボタン
パワーブラシ 切/弱/強
お掃除モード
強/弱
優しさモード
運転停止/プラズマクラスターイオン発生切り換え
切

夜など音が気になるとき

- 「優しさモード」をお使いください。
- 吸込口の回転ブラシの回転が気になる場合は、「パワーブラシ」ボタンを押して回転ブラシを止めてください。

- 「パワーブラシ」ボタンを先に押しても運転しません。
- 強/弱 優しさモード 運転によって、回転ブラシの動作は異なります。（8 ページ）
  「パワーブラシ」ボタンを押すごとに、回転ブラシの動作は「切」→「弱」→「強」→「切」→の順で切り換わります。回転ブラシを「切」でお掃除中にお掃除モードを押すと、再び回転ブラシが動作します。
- 回転ブラシを「切」でお掃除中に「パワーブラシ」ボタンを押すと、ダストカップにごみが一度に溜まり、ダストカップの「ゴミ捨て」ラインにごみが溜まる前に吸わなくなることがあります。
  その場合は、ごみを捨ててください。（12 ページ）

プラズマクラスターイオン運転について

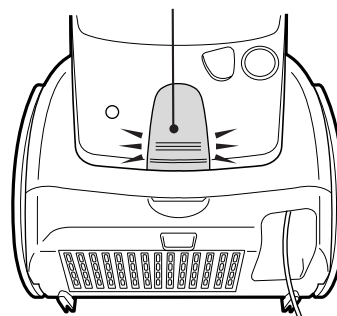
掃除機の運転をおこなうと、プラズマクラスターイオンが発生し、プラズマクラスターイオンランプが点滅します。掃除機の運転を止めた後も、約7秒間はプラズマクラスターイオンの発生は継続し、その後自動停止します。また、約7秒経過前に差込プラグをコンセントから抜くと、運転は停止します。

〈 掃除機の運転中にプラズマクラスターイオンの発生を止めたいとき 〉

- 掃除機の運転を止めた後、切 を2秒以上押し続けると、**ピッと1回確認音が鳴り、**その後の掃除機の運転ではプラズマクラスターイオンは発生しません。また、プラズマクラスターイオンランプも消灯します。

- プラズマクラスターイオンの発生を止めた場合でも、差込プラグをコンセントから抜くと、設定は解除されます。

〈 再び掃除機の運転中にプラズマクラスターイオンを発生させたいとき 〉

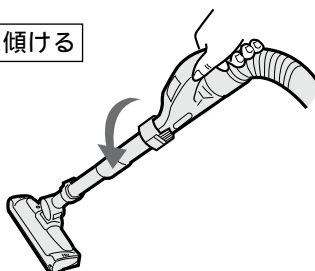
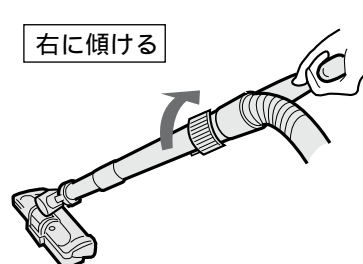
- 掃除機の運転を止めた後、切 を2秒以上押し続けると、**ピッピッと2回確認音が鳴り、**その後の掃除機の運転では、プラズマクラスターイオンが発生し、プラズマクラスターイオンランプも点滅します。

"奥の手"機能の使いかた

通常のお掃除

通常の前後の動きの他に、図のように、左右にも楽に動かしてお掃除できます。

壁ぎわや狭い所のお掃除

吸込口を少し押し付けながら手元をひねると、吸込口の向きが変わります。

左に傾ける

右に傾ける

場所に合わせたお掃除のしかた

差込プラグをコンセントに差し込み、お掃除モードを選び、手元スイッチを押します。

パワーブラシ 切/弱/強

強/弱

優しさモード

切

じゅうたん

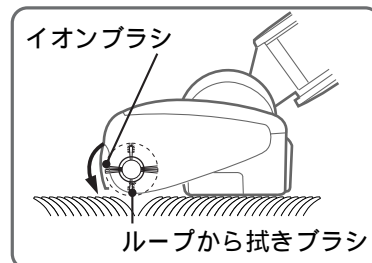
 を1回押す。

本体が「強」、回転ブラシも「強」で動作します。

 を押す。

本体と回転ブラシの運転が止まります。

お知らせ
- 夜などの音が気になる場合は「優しさモード」を、お使いください。

- ループから拭きブラシとイオンブラシが強い力で回転し、じゅうたんにからんだ毛髪・糸くずや、奥まった所にある砂ごみをかき出し、吸い取ります。

床・たたみ

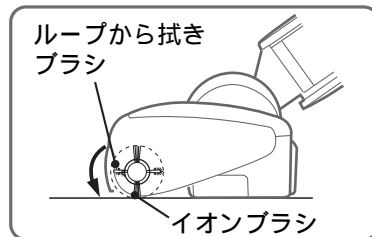
 を2回押す。

本体が「弱」、回転ブラシも「弱」で動作します。

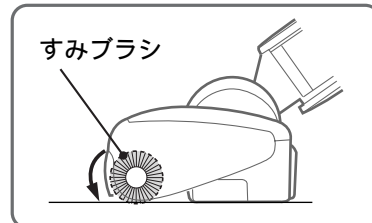
切 **を押す。**

本体と回転ブラシの運転が止まります。

お知らせ
- 夜などの音が気になる場合は「優しさモード」を、お使いください。

- ループから拭きブラシが床の目地などに入ったほこりをからめ取り、フローリングのから拭き効果を高めます。

- すみブラシのブラッシング効果で、お部屋の隅や壁ぎわのハウスダストもしっかり吸い取ります。

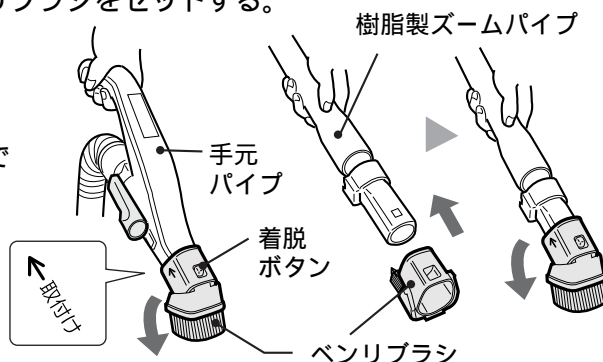
カーテン・すき間

まず、手元パイプまたは樹脂製ズームパイプの先に、すき間用ノズルを取り付ける。または、ベンリブラシをセットする。

 を押す。

本体が「優しさモード」で動作します。

 を押す。

本体の運転が止まります。

- ベンリブラシは手元パイプからはずして樹脂製ズームパイプの先に付け替えることもできます。
- ベンリブラシをはずすときは、着脱ボタンを押しながらはずしてください。
- ベンリブラシを取り付けるときはブラシ両側面の矢印が示す方向にブラシを「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

使いかた
ハンドルをしっかり持ち、ベンリブラシを、「カチッ」と音がするまで差し込み、ベンリブラシを回転させてください。

お掃除(じゅうたん,床･たたみ)の際の吸込口の動かしかた

① 掃除機の吸込口は床面に強く押し付けないで、ゆっくりと軽く前後に動かします。
② 掃除機の吸込力と吸込口の回転ブラシによるかき出し力が効果的にはたらき、楽な姿勢でお掃除ができます。

● 吸込口の側面(すみブラシ部分)から輪ゴムやひもなどを吸い込ませないでください。回転ブラシの故障の原因になります。

① まず一定方向に
② 次に直角方向に
③ 最後に残った隅を

お掃除します。

● 吸込口が密着するようなじゅうたんや、玄関マットなどでは、吸込口が吸い付いて操作が重くなったり、場合によって回転ブラシが止まることがあります。
また、そのような状態で運転を続けると､クリーニングサイン(ランプ点滅とアラーム音)が出ることがあります。
その場合は､いったん (切) を押し、(優しさモード) を押してお使いください。また、ごみが取れにくいときは、回転ブラシを「強」でお使いください。

お知らせ

● はじめてお使いのときは回転ブラシのかき出しでダストカップにじゅうたんの遊び毛などのごみが多く吸い込まれますので、早めにごみを捨ててください。徐々にごみが少なくなります。
● 吸込口を同じ場所で長く使ったり､じゅうたんや床・たたみに強く押し付けると､じゅうたんや床･たたみを傷めることがあります。
● 掃除機の運転中、テレビの画面にノイズが発生することがあります。(テレビ本体に影響はありません。)

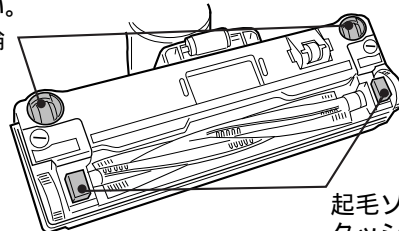
傷付き防止のため、床やたたみの目にそって軽くすべらせます。

お願い

● 床・たたみで回転ブラシを「強」でお掃除しないでください。回転ブラシの強い回転で、傷付きの原因となることがあります。
床・たたみでは回転ブラシを「弱」でお使いください。

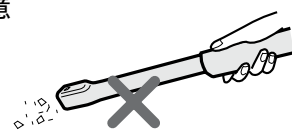
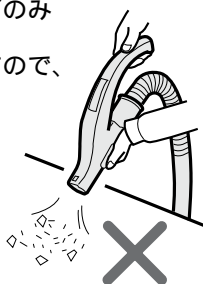
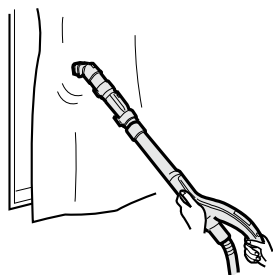
お知らせ

● 新築などのワックスがけされた床は吸込口の移動により、光沢の差がでることがあります。
光沢の差がでたときは、水を含ませた布で拭き取った後、ワックス拭きをし、乾燥させてください。
● 吸込口を床に強く押し付けたり、**自在車輪・起毛ソフトクッションが摩耗していると、床面を傷めることがあります。**自在車輪・起毛ソフトクッションが摩耗しているときは、お買いあげの販売店にご相談ください。

自在車輪

起毛ソフトクッション

こんな所にお使いください

家具のすき間

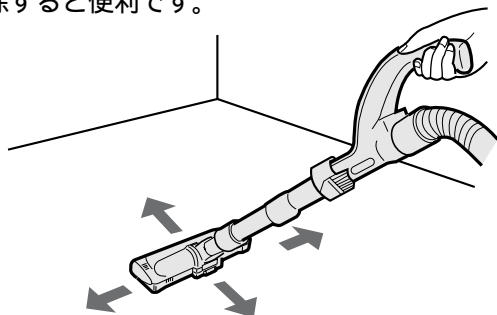
● 手元パイプや樹脂製ズームパイプのみでお掃除しないでください。
故障の原因になることがありますので、すき間用ノズやベンリブラシを付けてお使いください。
● すき間用ノズルをご使用中に、伸縮ボタン(樹脂製ズームパイプの裏側)を押さないでください。樹脂製ズームパイプが縮み、指を挟むことがありますので、ご注意ください。
● すき間用ノズルをはずすときは、回しながら抜いてください。

● ベンリブラシが汚れた場合､ベンリブラシをはずすと水洗いできます。水洗い後は十分に乾燥させてください。
● 吸込口を付けて (優しさモード) を押すと、本体は「優しさモード」､回転ブラシは「弱」で動作します。

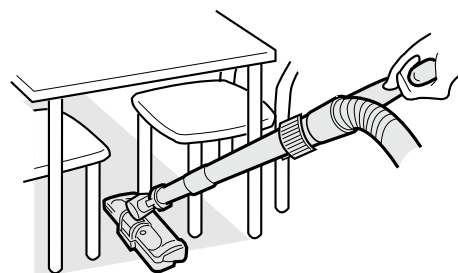
場所に合わせたお掃除のしかた

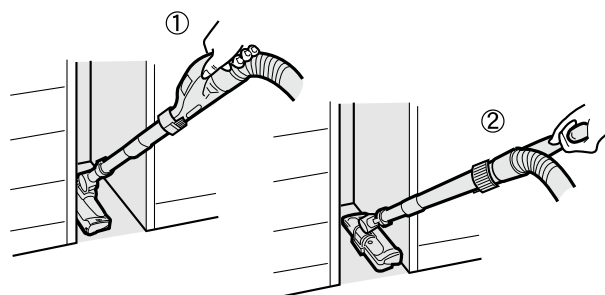
使いかた

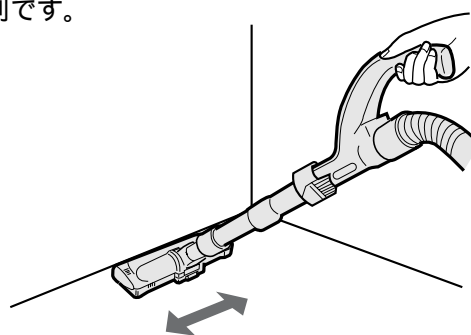
お掃除のポイント

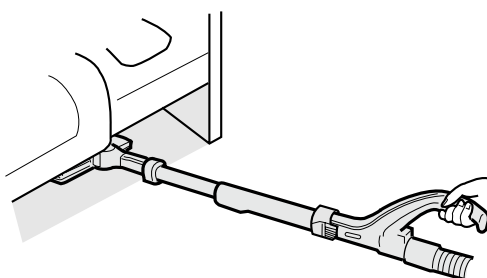
広い所

前後のお掃除だけでなく、吸込口を左右に動かしてお掃除すると便利です。

テーブルの下

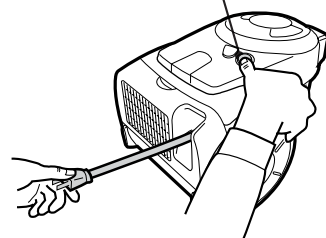
吸込口をたて向きにしてお掃除すると、椅子を動かす手間が省け、便利です。

家具と家具のすき間

吸込口をたて向きにして、①・② の両方向ですき間をお掃除すると、ごみがよく取れます。

お部屋の隅や壁ぎわ

壁ぎわに吸込口の向きを合わせて、お掃除すると便利です。

ベッドの下など

樹脂製ズームパイプを寝かせると、フラットアングル(水平な状態)で楽にお掃除できます。

- **一度に多量のごみ・ティッシュなどの大きいごみを吸わせないでください。**
  とくに「優しさモード」で、一気に多量のごみを吸わせないでください。
  内筒のメッシュやクリーニングリングへのごみのからみつきや、本体のごみ詰まりの原因になります。
- **回転ブラシから異音がする場合は、回転ブラシにごみがからみ付いている可能性があります。(**16ページ**)**
  そのまま使用すると床面の傷付き、回転ブラシの故障の原因となります。

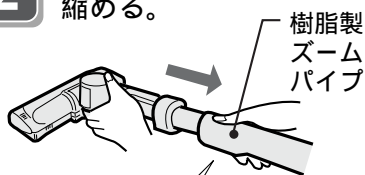
電源コードの巻き取り

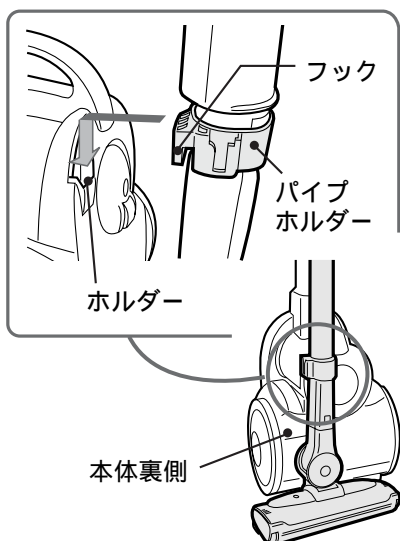
電源コードを巻き取るときは、車輪の側面を押さえ、しっかり本体を固定し、差込プラグを持って、コード巻取りボタンを押してください。
完全に巻き取れないときは、少し引き出してもう一度コード巻取りボタンを押してください。

- 電源コードを引き出すときは､電源コード根元の赤マーク以上引っ張らないでください。
  断線の原因になります。

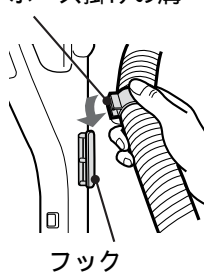
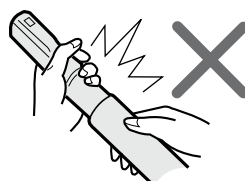
- 運転中モーターの排気熱により、本体や電源コードが熱くなりますが、異常ではありません。

スタンド収納のしかた

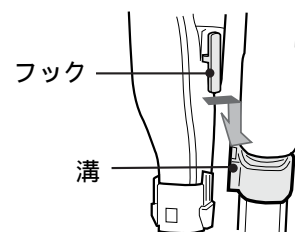
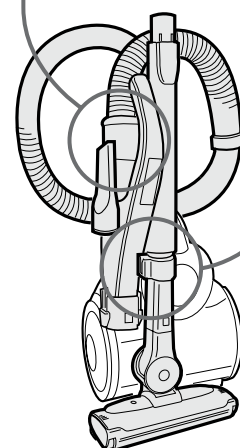
1 差込プラグを持ってコードを巻き取ってから、本体を立てる。

2 樹脂製ズームパイプを縮める。

伸縮ボタンを押しながら、縮める。

3 樹脂製ズームパイプの、パイプホルダーのフックを、本体裏側のホルダーに差し込む。

4 ホース掛けの溝を、手元パイプのフックに差し込み、ホースを整える。

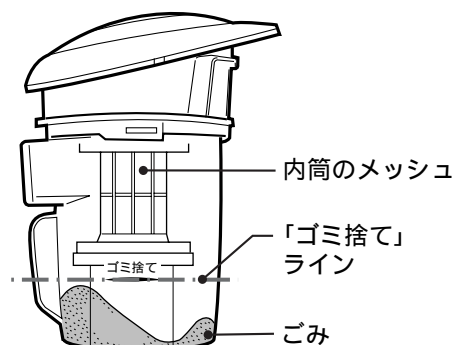
お願い

- スタンド収納状態のままで持ち運ばないでください。
  ホースや樹脂製ズームパイプがはずれる場合があります。
- 樹脂製ズームパイプを縮めるとき、指を挟まないよう、ご注意ください。

もっとコンパクトに収納するとき

樹脂製ズームパイプから手元パイプをはずした後、

5 ホース掛けの溝を、手元パイプのフックからはずす。
手元パイプのフックを、樹脂製ズームパイプのパイプホルダーの溝に差し込む。

ホースの収納は手元パイプ側を回転させ整えてください。

ごみの捨てかた

● 衛生面から、お掃除のつどごみを捨てることをおすすめします。

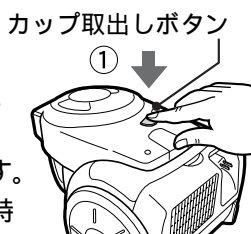
● **「ゴミ捨て」ラインを越える前にごみを捨ててください。**
ごみの種類により、カップ内でごみが一カ所に片寄って溜まることがありますが、この場合も「ゴミ捨て」ラインを越える前にごみを捨ててください。
「ゴミ捨て」ラインを越えてそのまま使用を続けると、内筒のメッシュへごみが付着する原因になります。

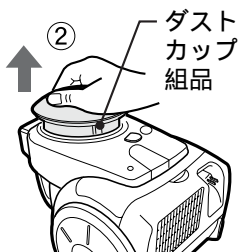
● **内筒のメッシュやフィルターが目詰まりした場合、クリーニングサイン(ランプ点滅とアラーム音)でお知らせし、運転を停止します。(13 ページ)**
● **ダストカップをはずすときに内筒のメッシュがクリーニングされます。(13 ページ)**
月2回は内筒とクリーニングリングのお手入れをしてください。(14 ページ)

ダストカップを取りはずす

1 手元スイッチの 切 を押し、差込プラグをコンセントから抜く。

2 本体からはずす。

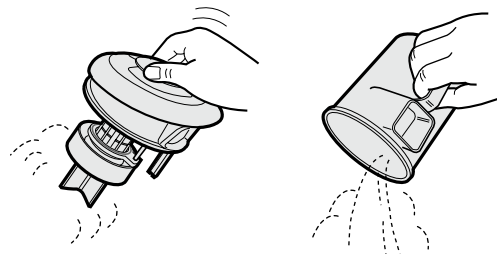
カップ取出しボタンを押すとダストカップ組品が少し浮き上がります。

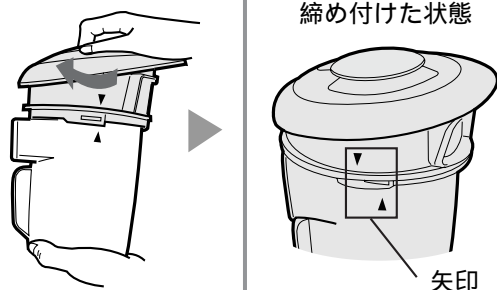
① カップ取出しボタンを押す。
② ダストカップ組品を上に持ち上げる。

カップ取出しボタン
①

● 安全のため、本体を立てた状態では、カップ取出しボタンを押してもダストカップ組品は浮き上がりません。(セーフティ機構)
使用状態にしてからカップ取出しボタンを押してください。

3 ダストカップ側面を軽くたたいた後、ダストカップ上のとってを持ち、左に回してはずす。

● ダストカップふたをはずすときは、ごみがこぼれることがありますので、ごみ箱などの上ではずしてください。

4 ごみを捨てる。

内筒に付いたごみと、ダストカップ内のごみを捨てる。

● ダストカップのごみを捨てるときは、ダストカップをごみ捨て面へ近付け、ダストカップをさかさまにし、静かに引き上げるようにすると、ほこりの舞い立ちが防げます。

5 ダストカップ上組品と、ダストカップを、矢印の先が合う位置ではめ込み、ダストカップ上を右に回して締める。

● スタンド収納状態(本体を立てた状態)からダストカップ組品をはずす場合、使用状態にしてから一度運転してください。運転しないと、ごみがこぼれることがあります。

お知らせ

● **ごみの種類により「ゴミ捨て」ラインにごみが溜まる前に吸い込みが悪くなり、クリーニングサイン(ランプ点滅とアラーム音)でお知らせする場合があります。(13 ページ)その場合は、ごみを捨てて内筒とクリーニングリングやフィルターのお手入れをしてください。(14,15 ページ)**
● **ダストカップにごみが入っている状態ではダストカップ上組品が取り付きません。その場合は、ダストカップのごみを捨ててください。**

ダストカップ組品を取り付ける

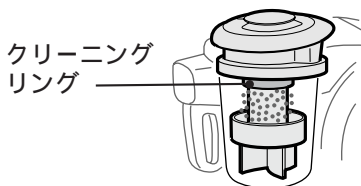
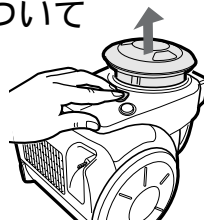
ダストカップ組品を本体に入れて、ダストカップ上の中央を矢印方向に押す。

「カチッ」と音がするまで、しっかり押してください。

- 本体のダストカップ受け面にごみ・異物を落下させないでください。またその状態でダストカップ組品を本体に取り付けないでください。

内筒のメッシュのクリーニングについて

① カップ取出しボタンを押すとカップが浮き上がり、同時にクリーニングリングが作動して内筒のメッシュがクリーニングされます。

② ごみの種類によっては、内筒のメッシュに付着したごみが落ちない場合がありますので、月2回は内筒とクリーニングリングのお手入れをしてください。(14 ページ)

カップが浮き上がると同時に

クリーニングリングが下りてごみが取れる

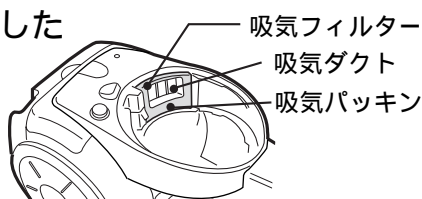
- 運転中はカップ取出しボタンを押さないでください。吸込力の低下や、モーターにごみが入り、故障の原因になります。

内筒にティッシュ・ひも状などのごみが巻き付いた場合

① クリーニングレバーを指で押し下げる。

② 内筒・クリーニングリング・ブラシに巻き付いたごみを取り除く。

ダストカップをはずした状態について

ダストカップをはずした状態では、吸気ダクト・吸気フィルター・吸気パッキンが見えます。

- 吸気フィルターは取りはずさないでください。
- 吸気フィルター面に付いたごみなどは、柔らい布などで取り除いてください。
- 吸気ダクトに指・ヘアピン・つまようじ・コインなどの異物は入れないでください。故障の原因になります。
- 吸気パッキンは取りはずせません。無理に引っ張ったりしないでください。

クリーニングサインについて

内筒のメッシュやフィルターが目詰まりした場合、クリーニングサイン(ランプ点滅とアラーム音)でお知らせします。

(モーターがパワーダウンをして、約15秒でアラーム音と運転を停止しランプのみ点滅を続けます。)

- 手元スイッチを 切 にしてダストカップ内のごみを捨ててください。
- 続けてお使いになる場合は約2分後に手元スイッチを押してください。(2分以内でお使いになると、再びランプ点滅とアラーム音でお知らせすることがあります。)
- 内筒の水洗いとクリーニングリングのお掃除、フィルターの水洗いをしてください。
- 切 を押すと、ランプの点滅とアラーム音が止まります。

処置のしかた

内筒とクリーニングリングや、フィルターのお手入れ(14,15 ページ)をご覧になり、お手入れをしてください。

- 内筒とクリーニングリングやフィルターのお手入れをしないで、そのまま続けて 強/弱 優しさモード を押さないでください。
  故障の原因になります。

- **ご使用状況(室温･お掃除モードの種類など)によっては、クリーニングサインのお知らせがなくても、吸込みが弱くなることがあります。この場合、内筒やクリーニングリングと、フィルターのお手入れ(14,15 ページ)をしてください。**

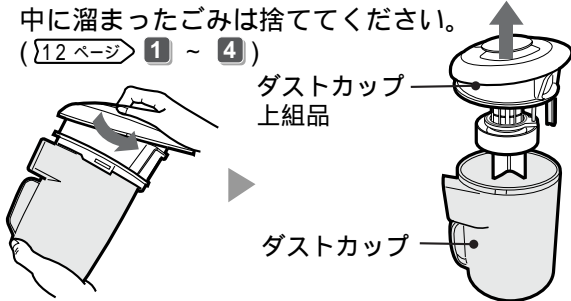
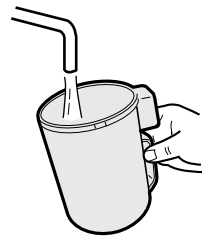
お手入れ

お手入れの際は、必ず (切) を押し、差込プラグをコンセントから抜いてください。

本体の汚れが目立ってきたときは、水または中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。
ほこりが取れ、静電気も抑えられます。
シンナー・ベンジン類は変質や変色しますので使わないでください。

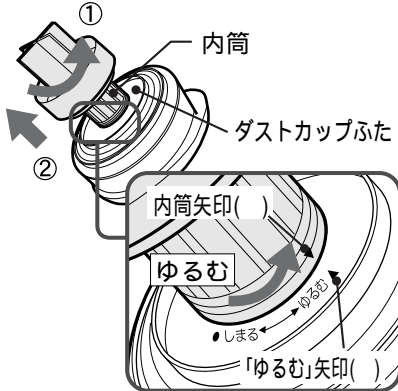
ダストカップ

ダストカップがほこりで汚れたときなど。

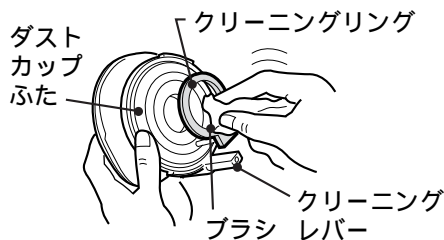
1 ダストカップ上組品とダストカップを回してはずす。
中に溜まったごみは捨ててください。
(12ページ 1 〜 4)

2 ダストカップを中性洗剤で洗った後、水洗いし、まわりと、内側に付いた水を拭き取る。
柔らかく乾いた布で水滴を拭く。

3 ダストカップ上組品とダストカップを回して付ける。 (12ページ 5)

内筒とクリーニングリング 月2回・お手入れ

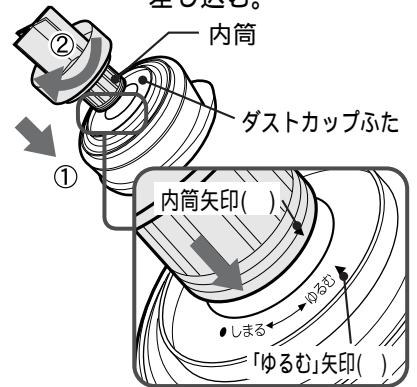
大量のごみの付着や、ごみの種類によっては、内筒のメッシュが目詰まりする場合がありますので、
内筒を月2回、中性洗剤で洗った後、水洗いしてください。またクリーニングリングも掃除をしてください。

1 内筒の矢印(▼)の先とダストカップふたの「ゆるむ」の矢印(▲)の先が合うまで、内筒を左方向に回し、ダストカップ上組品からはずす。

2 内筒に付いた毛髪などを取り除き、中性洗剤で洗った後、水洗いする。
水道水を流しながら、内筒のメッシュを毛先の柔らかい歯ブラシなどでこすって洗い、乾いた布で水滴を確実に拭いてください。

3 濡れた布でクリーニングリングのブラシに付いたごみを取り除く。

- クリーニングリングは、浮いた状態になっていますので、お掃除の際に、無理に力をかけないでください。変形し、故障の原因になります。

- ダストカップふた・クリーニングリング・ブラシおよび、ダストカップ上は水洗いできます。十分に乾燥させてください。
- ダストカップ上は、フィルター挿入部を下側にして陰干しし、十分に乾燥させてください。

フィルター挿入部

4 ① **内筒の矢印(▼)の先とダストカップふたの「ゆるむ」の矢印(▲)の先が合うよう、内筒をダストカップ上組品に差し込む。**

② **内筒の矢印(▼)の先とダストカップふたの「しめる」の●印が合うまで、内筒を右方向に回す。**

- 内筒をダストカップ上組品に取り付けないで使用するとモーターへごみが入り故障の原因になります。
- 取り付けるときは、内筒のメッシュを強く押さえないでください。

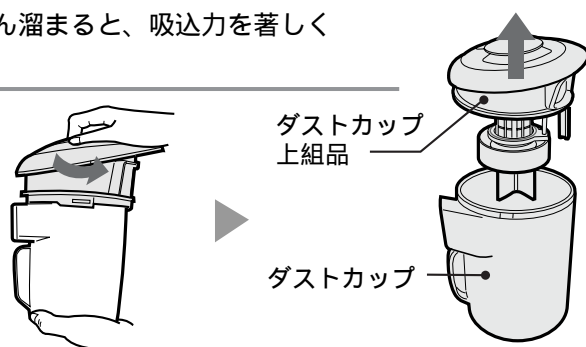
- 薬剤・漂白剤や温水などを使用しないでください。
- ダストカップの表面を傷めることになるので、毛の硬いブラシで洗わないでください。
- ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。
- 内筒のメッシュを傷めることになるので、爪を立てたり毛の硬いブラシで洗わないでください。

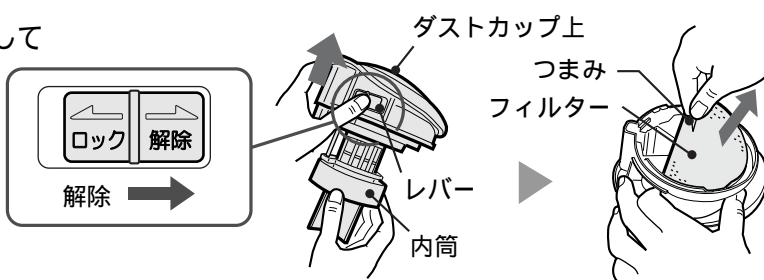
フィルター

月１回・水洗い

非常に細かいごみがたくさん溜まると、吸込力を著しく
低下させる原因になります。

1 **ダストカップからダストカップ上組品を
回してはずす。**

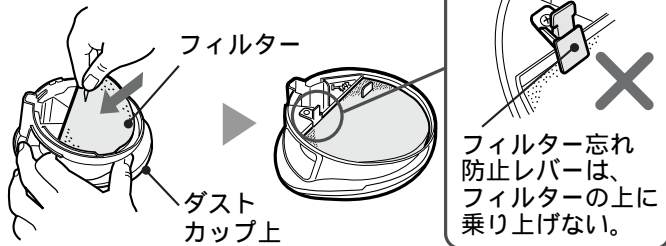
中に溜まったごみは捨ててください。
（12 ページ 1 ～ 4 ）

2 **内筒を持ち､レバーを｢解除｣側に動かして
ダストカップ上を引き抜く。
ダストカップ上からつまみを持って
フィルターを取りはずす。**

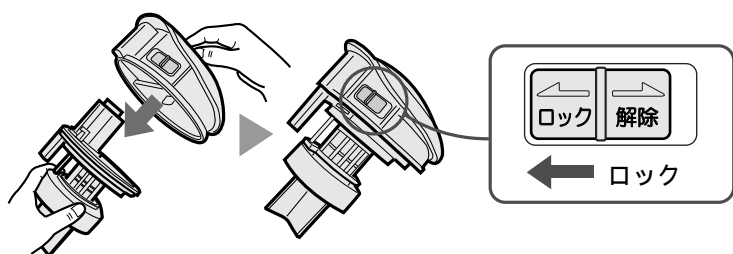
- レバーを操作する際は、必ず内筒を手で支えてください。

3 **フィルターを水洗い(軽くもみ洗い)する。**

フィルターを押して水を切り、陰干しして乾燥させてください。
油などで汚れが落ちない場合は、中性洗剤で洗った後、水洗いしてください。

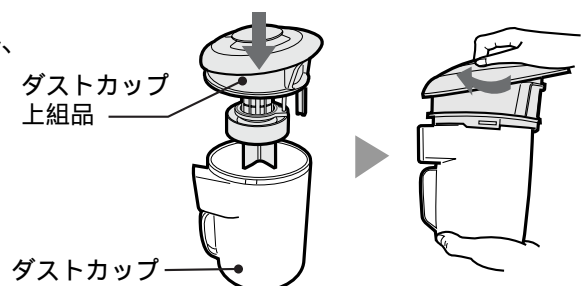
- フィルターとつまみを引っ張ったりねじったりすると、ちぎれることがありますのでおやめください。
- フィルターの水洗い後は十分に乾燥させてください。
  水を含んだまま運転すると､モーターの故障の原因になります。
- フィルターを洗濯機で洗濯しないでください。
- フィルターをねじって洗ったり、しぼらないでください。
- ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。

4 **フィルターをダストカップ上に取り付ける。**

- フィルターは必ず所定の場所に取り付けてください。吸込力の低下や、モーターの故障の原因になります。
- フィルター忘れ防止レバーが、フィルターの上に乗り上げないように、ご注意ください。ダストカップ上がダストカップふたに取り付けられなくなります。

5 **ダストカップ上をダストカップ
ふたに取り付け、レバーを
｢ロック｣側に動かす。**

- レバーが｢解除｣側にあることを確認して、ダストカップ上をダストカップふたに取り付けてください。

6 **ダストカップ上組品をダストカップにはめ込み、
ダストカップ上を右に回して締める。**

（12 ページ 5 ）

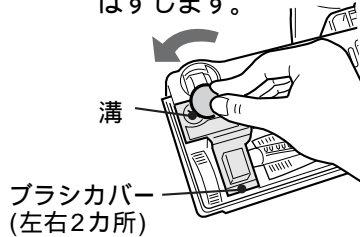
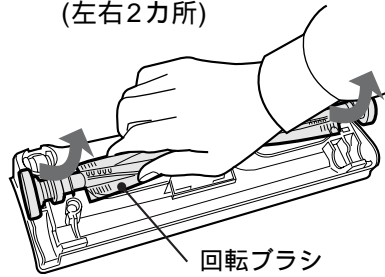
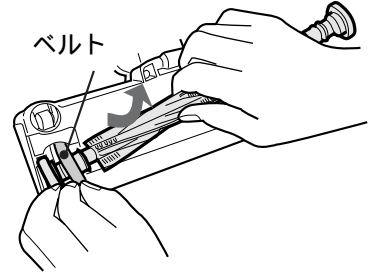
- フィルターが所定の箇所に付いていないと、ダストカップは取り付きません。

回転ブラシ

すみブラシ部は、床材の種類により摩耗する場合があります。長期間の使用などにより摩耗がひどくなると、ブラッシング効果が弱くなります。その場合は、回転ブラシをお買いあげの販売店でお買い求めのうえ交換してください。

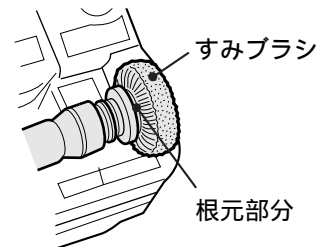
糸くず・毛髪・輪ゴムなどがからみついたときなど。

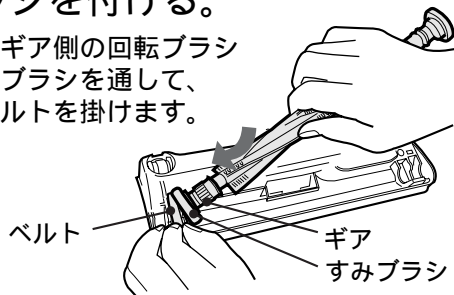
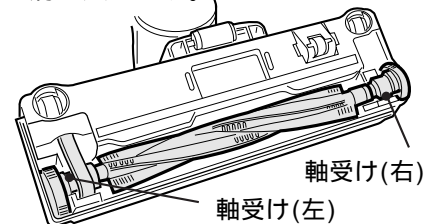
差込プラグをコンセントから抜いてから吸込口を裏返します。

1 ブラシカバー(左・右)2カ所をはずして回転ブラシをはずす。

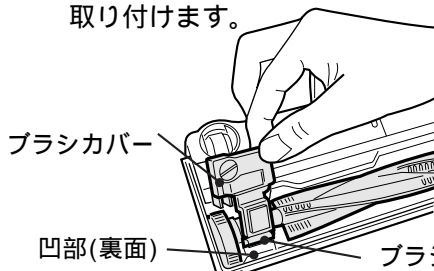
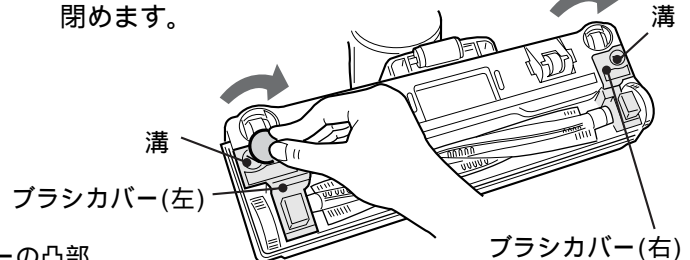
① ブラシカバーの溝にコインなどを入れ、「ひらく」の位置まで回して、ブラシカバーをはずします。

② 回転ブラシを持ち上げて溝からはずします。(左右2カ所)

③ 回転ブラシを回しながら、ベルトからはずします。

2 回転ブラシや自在車輪に付いた糸くずや毛髪などを切って取り除く。

回転ブラシの汚れが目立つようなら水洗いした後、乾いた布で水を拭き取り、陰干しして十分に乾燥させてください。自在車輪は水を含ませた布で拭いてください。

- すみブラシの根元部分に巻き付いた輪ゴムや糸くずなどは、必ず取り除いてください。
- 薬剤・漂白剤や温水などを使用しないでください。
- 毛の硬いブラシで洗わないでください。
- ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。
- 回転ブラシに注油しないでください。プラスチックが割れる原因になります。
- 吸込口は水洗いしないでください。故障の原因になります。

3 回転ブラシを付ける。

① ベルトにギア側の回転ブラシ端のすみブラシを通して、ギアにベルトを掛けます。

② 軸受け(左)を溝に入れてから、軸受け(右)を溝に入れます。

- **ベルトはギア側に正しく取り付けてください。取付方向を逆に付けると回転ブラシがはずれなくなるなど、故障の原因になります。**

4 ブラシカバー(左・右)2カ所を閉める。

① ブラシカバーの凸部を吸込口裏面の凹部に掛けて、ブラシカバーを取り付けます。

② ブラシカバーの溝にコインなどを入れ、「しまる」の位置まで回して、ブラシカバーを閉めます。

- ブラシカバー(左右2カ所)を必ず閉めてから、吸込口をお使いください。
- ブラシカバーの溝に爪を入れて回さないでください。けがをすることがあります。
- ブラシカバー取り付けの際に、すみブラシを挟み込まないようにしてください。

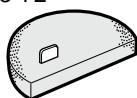
仕　様

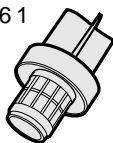
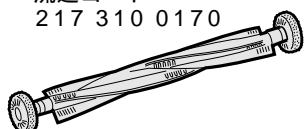
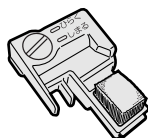
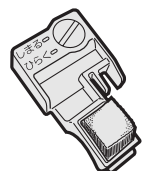
電　　源	100V　50-60Hz
消 費 電 力	1000〜約250W (手元スイッチが「切」時、約0.8W)
吸込仕事率	510〜約80W
運　転　音	59〜約49dB
集じん容積	0.9L
質　　量	5.4kg (吸込口・樹脂製ズームパイプ・ホース・本体含む)
本体寸法(mm)	幅250×奥行340×高さ240
コードの長さ	5m

※吸込仕事率とは、JIS規格に定められている吸込力の目安で、最大(〜最小値)を表示しています。
使用時の吸塵力は吸込仕事率以外に吸込具の種類や床材の違いなどによって異なります。
お掃除の際は、ふさわしいポジションをお選びください。

別売品

お買いあげの販売店、またはお近くのシャープ製品取扱店でお買い求めください。
(希望小売価格は2004年3月現在のものです。)

● **フィルター**
希望小売価格735円
(税抜価格700円)
流通コード
217 337 0342

● **ダストカップ**
希望小売価格2,625円
(税抜価格2,500円)
流通コード
217 137 0087
(EC-BP2-H)
217 137 0090
(EC-BP2-G)

● **内　筒**
希望小売価格2,310円
(税抜価格2,200円)
流通コード
217 395 0768
(EC-BP2-H)
217 395 0761
(EC-BP2-G)

● **回転ブラシ**
希望小売価格1,365円
(税抜価格1,300円)
流通コード
217 310 0170

● **ブラシカバー(左)**
(ベルト側)
希望小売価格315円
(税抜価格300円)
流通コード
217 110 2218

● **ブラシカバー(右)**
(ベルトのない側)
希望小売価格315円
(税抜価格300円)
流通コード
217 110 2217

● **ふとんブラシ**
希望小売価格1,680円
(税抜価格1,600円)
流通コード
217 935 0674

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは　持込修理

1. 「故障かな?」(19,20ページ)を調べてください。
2. それでも異常があるときは使用をやめて、必ず差込プラグを抜いてください。
3. お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証書

- **保証期間…お買いあげの日から1年間です。**
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間中

- 修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- 修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は掃除機の補修用性能部品を製造打切後、6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ

- 修理料金は、技術料·部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ

お客様へ … お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　ー

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについての「ご相談」ならびに「ご依頼」は、
お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

●製品の故障や部品のご購入に関するご相談は…… **シャープ修理相談センター** へ
●製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は……… **シャープお客様相談センター** へ

シャープ修理相談センター

●**修理相談センター** (沖縄・奄美地区を除く)
■受付時間 ＊月曜～土曜：午前9時～午後6時 ＊日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

0570-02-4649
当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせいたします。
(注) 携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		〈東日本地区〉	〈西日本地区〉
●**携帯電話／PHS**でのご利用は……	(一般電話)	043-299-3863	06-6792-5511
●**FAX**を送信される場合は…………	(ＦＡＸ)	043-299-3865	06-6792-3221

●**沖縄・奄美地区**については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **「持込修理」**および**「部品購入」**のご相談 は、上記**「修理相談センター」**のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間 ＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分 (祝日など弊社休日を除く)
〔ただし、沖縄・奄美地区〕は…＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分 (祝日など弊社休日を除く)

担当地区	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札 幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙 台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたま サービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東 京 テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多 摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千 葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横 浜 テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静 岡 サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金 沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京 都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大 阪 テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神 戸 サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広 島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高 松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福 岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那 覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

シャープお客様相談センター

■受付時間 ＊月曜～土曜：午前9時～午後6時 ＊日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

東日本相談室	TEL **043-297-4649**	FAX 043-299-8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL **06-6621-4649**	FAX 06-6792-5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。(0312)

故障かな？

次のような場合は、故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

こんなとき	次の点をお調べください	次の処置をしてください
使用中にランプ点滅とアラーム音でお知らせ後、約15秒で本体の運転が停止する。 **内筒のメッシュやフィルターが目詰まりした場合、クリーニングサイン(ランプ点滅とアラーム音 13ページ)でお知らせし、運転が止まります。次の処置をしてください。**		
● **ランプ点滅とアラーム音がお知らせし本体の運転が止まる**	● ごみがダストカップにいっぱいになっていませんか。	● ごみを捨ててください。（12ページ）
	● 内筒のメッシュやフィルターが目詰まりしていませんか。	● 内筒とクリーニングリングや、フィルターのお手入れをしてください。（14,15ページ）
	● ティッシュなどの大きいごみが、内筒に巻き付いていませんか。	● ごみを取り除いてください。
	● ダストカップにごみが溜まったまま長く使用していませんか。	● お手入れしてください。（12,14ページ）
	● ホース・樹脂製ズームパイプ・吸込口などに、ごみが詰まったまま長く使用していませんか。	● ごみを取り除いてください。

こんなとき	次の点をお調べください	次の処置をしてください
● **手元スイッチを入れてもモーターが動かない**	● 差込プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	● 差込プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
	● ホースがホース差込口にしっかり差し込まれていますか。	● ホースをホース差込口にしっかり差し込んでください。
	● 手元スイッチの「パワーブラシ」ボタンだけ押していませんか。	● 強/弱 優しさモード のいずれかを押してください。
● **吸込力が弱い**	● ダストカップにごみが溜まっていませんか。 ● 内筒のメッシュが目詰まりしていませんか。 ● フィルターが目詰まりしていませんか。	● お手入れしてください。（12,14,15ページ）
	● 樹脂製ズームパイプ・吸込口などに、ごみが詰まっていませんか。	● ごみを取り除いてください。
	● クリーニングリングに、ごみが付着していませんか。	● クリーニングリングをお手入れしてください。（14ページ）
● **コードが巻き取れない**	● 片寄って巻き取られたり、よじれていませんか。	● 少し(1〜2m)引き出して、再度巻き取ってください。
● **差込プラグおよびコードが異常に熱い**	● 差し込みがゆるくぐらついていませんか。	● コンセントの修理を販売店でご相談ください。
	● 延長コードを使用していませんか。 （差込プラグおよびコードは通常40°C程度の温度になりますが、異常ではありません。）	● 延長コードをやめ、コンセントに直接差し込んでください。
● **吸込口の動きが悪い**	● 自在車輪に毛髪などが巻き付いていませんか。	● 毛髪などを取り除いてください。
● **ダストカップが本体に取り付かない**	● ダストカップにごみが溜まっていませんか。	● ダストカップのごみを捨てて、お手入れしてください。（12,14ページ）
	● フィルターが正しく取り付いていますか。	● フィルターを、ダストカップ上に正しく取り付けてください。（15ページ）
● **回転ブラシが回転しない** ● **回転ブラシが止まる**	●「パワーブラシ」ボタンが 切 になっていませんか。	●「パワーブラシ」ボタンを押してください。
	● 毛髪や糸くずなどがからんでいませんか。 ● 玄関マットなどをかみ込んでいませんか。	● 切 を押して、差込プラグを抜いてから、回転ブラシに巻き付いたものを取り除いてください。（16ページ）
	吸込口が密着するようなじゅうたんや玄関マットなどでは、強/弱 の位置で掃除すると吸込口が吸い付いて自動停止装置により、ブラシの回転が止まることがあります。（9ページ） 自動停止装置がはたらき回転ブラシが停止したときは、一度手元スイッチを 切 にしてください。 しばらくすると、自動停止装置が解除され、ふたたび使用できます。	
● **プラズマクラスターイオンランプが点滅しない**	● プラズマクラスターイオンの発生を停止していませんか。	● 切 を2秒以上押して、ピッピッと音が鳴ったことを確認した後、運転してください。（7ページ）

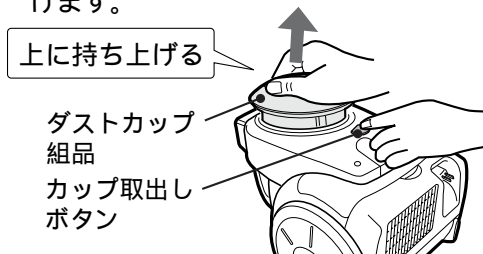
以上の処置をしても異常のある場合は、「保証とアフターサービス」(17ページ)をご覧ください。

以下のような場合も故障ではありません。安心してご使用ください。

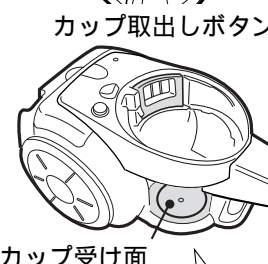
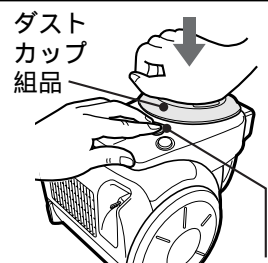
こんなとき	故障ではありません
● 製品から音がする(チッチッチッ)	● プラズマクラスターイオン発生時に出る音です。気になるときは、プラズマクラスターイオンの発生を止めてください。(7 ページ)
● 排気口からオゾンのにおいがする	● プラズマクラスターイオンユニットで発生するオゾンのにおいがすることがあります。 オゾンの濃度はごくわずかであり、健康上問題ありません。 また、すぐに分解するため、部屋に充満することはありません。
● 運転を止めた後もプラズマクラスターイオンランプが点滅する	● 運転停止後、約7秒間プラズマクラスターイオンが発生します。
● 吸込口を振ったりひっくり返したりすると(カラカラ)音がする	● 回転ブラシのセーフティストップ機構により発生する音です。 異常ではありません。

ダストカップが取りはずしにくい場合は、次の処置をしてください。

内筒・クリーニングリング部にごみが溜まった状態や、ごみの種類によりダストカップ組品の浮き上がりが小さかったり浮き上がらない場合

1. カップ取出しボタンを押した状態で、ダストカップ組品を本体から上に持ち上げて、取りはずします。
2. ダストカップのごみを捨てます。
3. 内筒・クリーニングリングに付着しているごみを取り除き、中性洗剤で洗った後、水洗いし、よく乾燥させてから取り付けます。
4. ダストカップ上組品と、ダストカップを取り付けた後、ダストカップ組品を本体に取り付けます。

本体とダストカップの間にごみ・異物が挟まった状態で、ダストカップを無理に取り付けたため、カップ取出しボタンが固くなったりダストカップが浮き上がらない場合

1. ダストカップ組品を上から押さえ付けた状態でカップ取出しボタンを押します。
2. カップ取出しボタンが動作すればダストカップ組品は浮き上がり、持ち上げてはずせます。
3. 本体とダストカップの間に挟まったごみ・異物を取り除きます。
4. ダストカップ上組品と、ダストカップを取り付けた後、ダストカップ組品を本体に取り付けます。

本体のカップ受け面の、ごみ・異物を取り除きます。

以上の処置をしても取りはずしにくい場合は、「保証とアフターサービス」(17 ページ)をご覧ください。

長年ご使用の掃除機の点検を！

このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。
- コードを折り曲げると、通電したりしなかったりする。
- 運転中に異常な音がする。
- 本体が変形したり、異常に熱い。
- こげくさいにおいがする。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故の防止のため、使用を中止し差込プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

● 製品についてのお問い合わせは… シャープお客様相談センター	東日本相談室 TEL 043-297-4649 FAX 043-299-8280 西日本相談室 TEL 06-6621-4649 FAX 06-6792-5993
《受付時間》月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)	
● 修理のご相談は…	18ページ記載の「お客様ご相談窓口のご案内」をご参照ください。
● シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　　社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
電化システム事業本部 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号

この取扱説明書は，環境にやさしい再生紙および、大豆油インキを使用しています。

TINSJA318VBRZ 04DK ③